

企業・団体名	業種	会員種別	栄養改善事業実施国(実施予定国含む)	当該国における栄養改善事業内容	栄養改善に係る 関心事	貴社・貴団体の強み(アピールポイント)	ホームページURL
1 一般財団法人アライアンス・フォーラム財団	財団	事業者	ザンビア、バングラデシュ、エチオピア、ケニア、日本等	たんばく質含有量の高い食用菜であるスピリリナの地産地消モデル開発 現地ステークホルダーと連携した栄養教育の実施	・特に途上国での栄養や貧困問題を解消する商品・サービスの開発 ・社会構造の革新に向けた「食・栄養制度提案」 ・現地の人材を活用した持続可能な事業モデルの開発	貧困を解消し健康で教育を受けた中間層創出のため、アフリカ・アジアにおける持続可能且つ社会変革事業開発に実績。	http://www.allianceforum.org
2 特定非営利活動法人 国際生命科学研究所 (ILSI Japan)	学術系非営利団体	事業者	カンボジア、インドネシア、ミャンマー	日系工場に勤務する従業員を対象として、現状より健康的な工場食を提供すると共に栄養教育を行い、行動変容を促すことにより、従業員の栄養及び健康状態を改善する。	-	国内およびアジア諸国における栄養改善に関する研究、事業に関する実績があること。	http://www.ilsijapan.org/
3 公益財団法人 国際開発支援財団	NGO、公益法人	事業者	カンボジア、ベトナム、ネパール(予定)	カンボジア：病院給食、食生活指針策定、栄養教育 ベトナム：最貧困地域における子どもの栄養改善 ネパール：山岳村落における食生活改善	栄養指導者の育成、栄養知識普及の組織強化、行動変容の仕組みづくり	カンボジアの病院給食と食生活指針策定、ベトナムの栄養改善アプローチなど国内初の試みを実現した。	http://www.fidr.or.jp/
4 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所	国立研究開発法人	一般	特定の国はなし	国際協力若手外国人研究者招へい事業により毎年度1~2名を約3ヶ月間招へいしている。	国際評価指標に基づく健康的な食環境に関する政策評価の共同研究に参加し、日本の優れた栄養政策を世界に発信することを目指している。	「栄養と身体活動に関するWHO協力センター」の指定を受け、西太平洋地域の栄養問題の解決に貢献している。	https://www.nibiohn.go.jp/
5 国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター	研究機関	一般	ラオス、マダガスカル、ブルキナファソ、中国等	主に開発途上地域において、食生活に関する調査研究を行い、栄養供給状況を把握し、改善方法の提案を行う。	育種や栽培技術等を通じた作物生産性の向上、加工・流通技術など、フードシステム全体を通じた栄養改善に関心。	国際農林水産業研究の中核的役割を担う農水省所管の研究機関で、海外での豊富な研究実績を有する。	https://www.jircas.go.jp/
6 一般財団法人サカワ・アフリカ財団	非営利団体	一般	エチオピア、ナイジェリア、マリ、ウガンダ	事業の柱は①農業生産性向上、②収穫後処理・農産加工③農業大学での農業指導人材育成事業です。栄養を前面に事業を行っているわけではありませんが、現地の小規模農家に対し、栄養価に優れた作物・品種(高蛋白質大豆、大豆等の豆類、オレジンサツマイモ等)の栽培普及等は積極的に進めています。	農業分野において、現地の小規模農家を利するような、費用対効果の高い栄養改善の技術や情報等	活動実施国それぞれに現地事務所を構え、現地農業省との密なパートナーシップの下に草の根の活動を30年以上展開してきました。また現地の農業大学や研究所とも連携し、独自のネットワークを築いています。	https://www.saa-safe.org/jpn/
7 (認定)特定非営利活動法人 シェア=国際保健協力市民の会	NPO/NGO	一般	カンボジア	最も栄養状態が悪いプレアピビア州において、「子どもの栄養改善1000日アプローチプロジェクト」を実施しています。主に、妊産婦から2歳児までを対象とした乳幼児健診・保健教育・離乳食教室を実施しています。	州の保健担当官やボランティア、女性子ども委員会と協力しながら、地域で採れる野菜を使った取り分け離乳食のレシピを開発し、乳幼児健診の際に離乳食教室を開催しています。	プライマリ・ヘルス・ケアの理念に基づいた保健活動を続けており、現地に根差した活動を大切にしています。	https://share.or.jp/index.html
8 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	NGO	一般	ベトナム、ミャンマー、ラオス、ウガンダ	ウガンダ：母親と子どもの「最初の1000日間」支援。難民居住区内に母親が清潔な環境で安心して授乳したり、栄養カウンセラーに相談したりする場を提供。	途上国における栄養改善支援 栄養分野における、企業の責任あるビジネスの推進とNGO連携 東京栄養サミット2020	栄養改善の海外支援とアドボカシーを実施。特に東京栄養サミット2020に向け、日本政府の政策・資金コミットメントを働きかけ。	https://www.savechildren.or.jp/
9 一般社団法人Social Compass	デザイン、映像	一般	カンボジア	-	-	映像、デザインを用いた教材の開発やイベントの実施を行なっています。	https://socialcompass.jp/
10 バイオバシティ・インターナショナル サブサハラアフリカ拠点事務所(ナイロビ)	研究機関	一般	ケニア・タンザニア・ウガンダ・エチオピア(サブサハラアフリカ地域)	弊所では、地域の栄養状況、低利用農作物の利用可能性を調査・分析する技術を開発するとともに、それらを用いて地域の人々へ栄養改善情報、低利用農作物も対象とした農業技術情報を提供するためのアプリを開発しています。あわせて、自立的な農村ICTネットワークを構築し、情報へのアクセス向上による利用者の栄養改善に対する認識と対応能力の向上に向けた実証を行っています。 https://www.bioviversityinternational.org/news/detail/better-data-for-better-nutrition/	Bioviversityでは栄養改善情報や栄養改善を支える農業技術情報へのアクセスが困難なアフリカにおいて、農村ICTネットワークを構築・活用して情報を収集・分析する技術と、その結果を利用者へ提供するための技術の開発を民間企業や大学機関との連携を強化して取り組んでいきたい。情報の見える化を進めることで、栄養問題の根幹を特定すると同時に、地域農産物遺伝資源の利用促進(加工・機能性研究など)や保全などの要素研究活動を通じ新たな産業化に貢献していきたい。	食料安全保障と栄養に関する現地調査、情報収集および収集情報の分析、調査デザイン、手法の開発・提供、モニタリング評価などのお手伝いができるほか、外部資金を入れることで邦人研究員の受け入れも可能です。また研究のみならず、政策評価、政府機関に対するロビー活動も行うことができます。	https://www.bioviversityinternational.org/
11 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン	NGO	一般	カンボジア、ミャンマー、ベトナム、バングラデシュ、インド、ネパール、ケニア、エチオピア、ルワンダ、南スーダン、タンザニア、ウガンダ、マラウイ、アフガニスタン	主な活動は、0歳から5歳までの子どもたちの栄養改善のための食料配布、母親のための栄養改善の研修、衛生改善のための井戸の建設や手洗いの習慣を身に着けるための研修、などを実施。	子どもたちが命を落とす原因となっている栄養不良(Stunting、Wasting)を改善したい。	コミュニティ開発に取り組むNGOとして、栄養に直接にかかわる分野での取り組みに加えて、水衛生、保健、農業など関連のあるセクターの取り組みと合わせて、子どもの栄養改善に取り組んでいる。	https://www.worldvision.jp/
民間企業							
12 アイ・シー・ネット株式会社	開発コンサルティング会社	事業者	グアテマラ、コモロ、エチオピア、ベトナム、(バングラデシュは予定)	グアテマラ…妊産婦と子どもの健康・栄養改善事業、コモロ…コミュニティレベルの母子栄養改善を目的とした啓発普及/IEC支援業務、エチオピア…母子栄養改善事業(モニタリングツール開発)、ベトナム…民間企業の栄養教育事業支援	住民を巻き込んだ持続可能な栄養改善	国際開発援助のソフト分野のリーディングカンパニーとして質の高い多角的視野からのサービスが提供できる。	https://www.icnet.co.jp/
13 味の素	食品製造	事業者	日本、アセアン、欧州、北米、南米、アフリカ	おいしくて、各地の生活者のニーズにフィットした、栄養バランスの良い食事の推進(調味料を始めとする製品販売、メニュー提案など)を実施しています。	栄養サミット、ICN2021に向けた日本の民間セクターの提案内容と、それに対する政府からの御支援。	食品・アミノ酸など、食に関わる幅広い分野に知見を有しており、様々な角度から栄養改善に貢献できること。また、展開国がアセアンを中心に広がっていること。	https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/
14 合同会社RDBコンサルティング	コンサルタント	一般	米国、ブラジル、中国、ASEAN、オーストラリア、中東	低糖、低カロリー素材の販売と普及 エコー、ラクトビオン産、スルフィニル等の機能性食品の販売支援	各国の食品に関するレギュレーション、スタンダード、ルール、定義	総合商社、メーカーと契約しているため、多くの素材を扱うことができる。非市場障壁の乗り越え方のノウハウを持っている。	-
15 株式会社ヴィッテ	小売、卸売、コンサルティング	事業者	未定	直接的な栄養改善事業ではありませんが、これまで、タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジアの貧困地域において、計5校の学校建設(校舎の増築、改築)のコンサルティング事業を行って参りました。	貧困地域の低栄養に対して、ビジネスを通して改善していけるモデルを作りたいと考えております。お役に立てることがありましたら、既に実施しているNJPPPプロジェクトへも参加したいです。	医学関連の学術調査や研究開発の立案・運営を得意としております。栄養補助食品の商品開発、販売を行っております。	http://www.vitae-jp.com
16 合同会社WELLESOSNE JAPAN	教育事業、小売業	一般	ベトナム	ベトナムにて、独自開発して遊びながら栄養バランスが学べる食育教材を使用し、看護師や保育士、調理スタッフ向けに栄養バランスの指導を行っています。	食生活の乱れによる健康課題。	弊社はベトナムにて、遊びながら楽しく栄養バランスを学ぶことができる教材を独自で開発しています。	https://www.mogu-mogu.education
17 有限会社うずしお食品	食品製造業	一般	-	-	鳴門わかめの素材の栄養が、人に与える影響を徳島大学と共同研究の形で進めている。これらの知見の結果をもとに、まだ食経験のない海外へ向けた栄養改善の提案が出来る機会を得られればと考え申し込みました。	生産者から直接仕入れ、自社工場でボイル、トレース管理、衛生管理を徹底した鳴門わかめの製造加工会社です	https://uzushiohokuhin.co.jp/
18 SGSジャパン株式会社	検査・検証・試験・認証	事業者	多数	分析や検証事業などで間接的に関与。	弊社の150か国にある海外法人を活用して世界の栄養改善により深く関与できないかと考えています。	世界150か国に法人を持ち94,000名で構成された検査・検証・試験・認証における世界一のリーディングカンパニー。	https://www.ssgroup.jp/
19 NTCインターナショナル株式会社	建設コンサルタント	事業者	ナイジェリア、モザンビーク、ケニア、エチオピア、ザンビア、シエラレオネ、マダガスカル、セネガル、ルワンダ	1. 食事内容の栄養分析、不足栄養素の摂取改善に寄与する食材の特定や栽培・飼育の可能性を検討する調査 2. 食を通じた栄養改善手法の開発と実証、その為の能力強化や実施体制構築を目指す技術協力 3. 栄養改善の本邦研修参加者が、帰国後に実践する活動の指導や支援 4. 栄養改善事業に対する水管理・営農面からの貢献	食を通じた栄養改善手法の開発と実証	70ヶ国以上において、農業・農村コミュニティ開発や人材育成のプロジェクト実績を持つ開発コンサルタント	http://ntc-i.co.jp/
20 大塚製薬(株)	製造業	事業者	アジア、アフリカ	病院関係商品ですと拭消輪液、経口栄養剤、消費者商品ですとボカリスエット、SOYJOYをアジアにすでに展開しております。	発展途上国でのブランド、味、コスト、サプライチェーンの開発に係る情報収集確認調査や、栄養改善能力強化プロジェクトの計画策定調査(評価分析/財務持続評価)	医薬品、医療機器、健康食品において予防から治療まで顧客、患者様のニーズにこたえるためのラインナップをそろえています。	https://www.otsuka.co.jp/
21 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル	開発・建設コンサルタント	事業者	アフリカ10か国(エチオピア、ガーナ、ナイジェリア、セネガル、モザンビーク、マダガスカル、マラウイ、スーダン、ブルキナファソ、ケニア)およびアジア3か国(ラオス、ネパール、東ティモール)等	「食と栄養のアフリカイニシアチブ(IFNA)対象国、アジア3か国の食料安全保障・栄養改善の状況と取り組みに関する調査、JICAの支援方針と具体的な取り組みに関する検討・提案、個別栄養プロファイルの作成等。	農業と栄養改善との連携	総合コンサルタントとして幅広い専門分野との連携が可能である。また、過去の業務を通じた各国政府関係者等とのコネクションの構築。	https://ocglobal.jp/ja
22 株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング	開発コンサルティング・サービス	事業者	ルワンダ、タンザニア、ザンビア、モーリタニア、ナイジェリア、ケニア、マダガスカル、インドネシア、日本	食料安全保障および栄養改善のためのフードバリューチェーン開発に係る情報収集確認調査や、栄養改善能力強化プロジェクトの計画策定調査(評価分析/財務持続評価)	-	新興国70ヶ国での豊富な企業支援とODA業務受託の実績。スリランカ、ラオス、ベトナムの現地事務所による支援	http://www.kmcinc.co.jp/
23 花王株式会社	化学メーカー	事業者	ベトナム	弘前COIの主要メンバー企業として、弘前COIが開発したQOL(啓発型)健診と健康教育および食事や運動に着眼した生活改善フォローにより、病気になるない社会づくりの支援を行う。	美味しく食べてメタボ、ロコモ改善につながる食事設計と普及	内臓脂肪に関するデータと知見、内臓脂肪をためにくいスマート和食の技術、ユニークな日常歩行の支援プログラムなど。	http://www.kao.com/jp/
24 キッコーマン食品株式会社	食品製造業	事業者	タンザニア・ケニア	現地食文化に適合した大豆普及によるタンパク質摂取量の改善	現地の食文化に対する発酵調味料の活用方法。具体的には、現地住民にとってアクセス可能な「美味しい食事」と栄養改善・健康的な食生活をどのように両立させるか。	醤油等の調味料を世界で提供し現地食文化に活用してきた経験値と、発酵を初めとした食品加工技術。	www.kikkoman.co.jp
25 株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング	コンサルティング	事業者	開発途上国全般(特に、マダガスカル、ガーナ、インド、モンゴル、タジキスタン、グアテマラ)	国際協力機構等をクライアントとした栄養・保健・農業等に関する調査(情報収集、計画立案等)、プロジェクト運営等	イノベーションによる栄養改善への貢献 https://www.k-rc.co.jp/sil/	ODA事業の豊富な業務経験を活かし、開発途上国での広範なコンサルティング・ニーズにお応えいたします。	https://www.k-rc.co.jp/

企業・団体名	業種	会員種別	栄養改善事業実施国（実施予定国含む）	当該国における栄養改善事業内容	栄養改善に係わる 関心事	貴社・貴団体の強み(アピールポイント)	ホームページURL
26 株式会社昆虫食のentomo	昆虫食の製造、販売	一般		現在、栄養改善事業を実施していません。	ブルキナファソから食用昆虫をフェアトレードで輸入しています。現在、ブルキナファソ産の食用昆虫とドライフルーツを使った商品を産学連携で開発し、今年の6月頃に販売予定です。将来は日本で商品の製造販売だけでなく、西アフリカで昆虫養殖と商品を製造して、西アフリカでも販売できればと考えています。昆虫は高タンパクで鉄分、ミネラル、食物繊維が豊富です。栄養改善と産業発展にも貢献できればと考えています。	食用昆虫の知見	https://entomo.jp/
27 (株) 電通	「Integrated Communication Design」を事業領域としたコミュニケーション関連の統合的ソリューションの提供、経営・事業コンサルティングなど	事業者		自社単体で実施している途上国での栄養改善事業はありません。	直接的な栄養改善事業ではありませんが、電通グループは、世界の大手広告5グループとともに、グローバルに取り組む画期的なイニシアチブ「Common Ground」（共通の立場）に参加しています。これはSDGsについて国連事務総長からの呼びかけに応じて、特定テーマの達成に向けて協力していくもので、電通グループは「Goal3：Health」をフィーチャーして、マラリアや結核などのグローバルな感染症対策にNGOとともに取り組んでいます。	マーケティング、PR、クリエイティブ、コンテンツ制作等を通して、生活者への伝達や浸透施策の企画実施。	https://www.dentsu.co.jp/
28 株式会社東洋食品	サービス業（給食事業）	事業者	インドネシア	日本式学校給食の導入による ・子供の栄養不足と肥満の予防、解消 ・食育の推進 ・医療費支出の削減と財政の健全化	・急速な経済成長に伴う食生活の変化と栄養の偏り ・貧困による栄養不足と食習慣の乱れによる過剰栄養 ・生活習慣病患者の増加と医療費の増加 ・医療費増加による財政の圧迫	・徹底した衛生管理 ・栄養バランスのとれた献立の作成 ・大量調理/ウハウを熟知した人材	http://www.toyo-foods.com
29 ハウス食品グループ本社(株)	食料品製造業	事業者	ミャンマー（2019年終了）	ビタミン強化米配布	ハウスが海外拠点を置いている「ベトナム」「インドネシア」を中心とした東南アジアにおける情報に関心。また、「インド」「ブラジル」等の地域の情報にも興味あり。	スパイスやカレーの調味技術で、肉・野菜・主食とバランスよく美味しく食べられること。ビタミン類製品の味割り・品質安定技術。	https://housefoods-group.com/
30 日清食品ホールディングス株式会社	加工食品製造・販売	事業者	日本、香港など	減塩、低カロリー、微量栄養素強化商品など栄養改善・健康志向商品の提供	栄養改善・健康志向商品をより多くの国々に展開したいと考えております	即席食品に欠かせない乾燥技術を生かした栄養強化商品の開発力	https://www.nissin.com/
31 日本ハム株式会社	食品製造業	一般	-	-	-	1996年より食物アレルギーへの取組み	https://www.nipponham.co.jp/
32 株式会社富士通総研	シンクタンク/コンサルティング	事業者	カンボジア王国	栄養改善の実現において大きな課題である栄養リテラシーの向上、食生活に関する行動変容の実現において、ブロックチェーン技術を活用したトークンシステムが有効な手段となることを実証する。	ICTを活用した栄養改善への貢献。	課題の本質を捉え、社会・環境の変化をフォーサイトし、常に最新のICTを駆使してお客様の成長に取り組む。	https://www.fujitsu.com/jp/group/tri/
33 株式会社 都給食	飲食店営業	事業者	インドネシア	職場食における栄養改善事業	企業内での運動会などができればいいと思う	大して御座いません、あえて言うならガッツ溢れるプレー	http://www.miyakog.co.jp
34 株式会社 明治	食品製造販売	事業者	台湾、パキスタン、ベトナム、他	女性栄養、乳幼児栄養、高齢者栄養	各国の規制、栄養充足状況（知識含む）、エビデンス取得手順、他	日本国内での栄養事業と、40年以上にわたるアジアでの食品事業展開実績を基盤にしている。	https://www.meiji.co.jp/
35 雪印メグミルク株式会社	食品メーカー（加工）	一般	インドネシア、台湾、香港、マレーシア	・チーズの普及及び、食育活動 ・MBP含有の成人用粉乳の摂取による骨の健康維持 ・乳幼児用粉ミルクによる栄養改善	各国の栄養不足状況とその国策 ・特に骨密度が低い地域 ・特にたんぱく質摂取が低い地域	機能性素材「MBP」。日本では当素材を含んだ製品が特定保健用食品に許可されている。インドネシア市場におけるチーズのシェア2位の販売網	https://www.meg-snow.com/
36 株式会社ユカシカド	検査事業 食品製造販売業	事業者	アフリカ、アジア諸国（実施予定国）	栄養状況の把握および栄養改善食の提供	対象国の食習慣、環境等によって異なる栄養状態、栄養課題の把握。地域に根ざす高栄養食品、材料の開発/流通	産学連携で開発した尿による栄養状態測定キットで、定量的な栄養状況の把握ができることで、地域や世代等に最適化したソリューションを提供可能であること。	https://www.yukashikado.co.jp/
37 株式会社ゆーき	小売り・医療サービス	事業者	日本、開発途上国全般	・高齢者や人類存続に影響する母子の健康被害解決として、医療連携・医食同源の普及 ・高栄養価食材の普及と安定確保として、薬用作物栽培の農業基盤確立 ・ホームドクター人材育成	・ICT・AIを活用した栄養改善による貢献 ・衛生・環境安全に配慮し、対象国それぞれの生存率を高め生活水準を高めるための方策	1998年より感染症対策として医療機関・介護施設の患者様へ食事療法導入、栄養補助食品を開発提供している。	-
38 ワールド産業株式会社	建築業 商品販売業	事業者	ミャンマー	現在検討中	栄養改善により労働者の雇用定着及び健康経営を望む。また、NJPPP会員の情報を得られることを期待したい。	ミャンマーの事業においてネットワークがある。	http://world-sangyou.net